

令和7年10月30日

第13回スポーツ振興賞の発表
～東京ビッグサイトで授賞式を開催～

公益社団法人日本スポーツ・健康産業推進協会（東京都新宿区）と一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構〔JSTA〕（東京都千代田区）は、スポーツ振興賞選考委員会の審査を踏まえ、スポーツや障がい者スポーツを通じて健康づくりをし、ツーリズムや産業振興、地域振興（まちづくり）に大きく貢献した団体、企業等を顕彰するとして第13回スポーツ振興賞の各賞の授賞作品を発表します。

応募総数41件の作品の中から最も優れた作品に「スポーツ振興大賞」を、優れた作品に「スポーツ振興賞」として、スポーツ庁長官賞、観光庁長官賞、経済産業省商務・サービス審議官賞、日本商工会議所奨励賞、日本スポーツツーリズム推進機構会長賞、日本スポーツ・健康産業推進協会会長賞の6点を選定しました。授賞式は、来る11月26日（水）に東京ビッグサイト（東京都江東区）の会場で行います。

1. 公益社団法人日本スポーツ・健康産業推進協会と一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構は、スポーツ振興賞選考委員会で慎重、厳正に審査された結果を踏まえ、以下の作品を授賞作品として決定した。

★スポーツ振興大賞

作品名：日本初開催の3x3 オリンピック予選 ― 宇都宮がつなぐ世界と地域

応募者：3x3 のまち宇都宮推進委員会（栃木県宇都宮市）

★スポーツ振興賞

○スポーツ庁 長官賞

作品名：パラスポーツで賑わい創出プロジェクト

応募者：特定非営利活動法人静岡 FID サッカー連盟（静岡県静岡市）

○観光庁 長官賞

作品名：「ボッチャのまち大館」宣言～ボッチャを通じたまちづくり～

応募者：大館市（秋田県大館市）

○経済産業省 商務・サービス審議官賞

作品名：スポーツ DX であなたのマチを元気にする！「マチスポ」

応募者：株式会社 NTT Sportict（大阪府大阪市）

○日本商工会議所 奨励賞

作品名：スポーツファンプロジェクト

応募者：一般社団法人宇部市スポーツコミッション（山口県宇部市）

○一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 会長賞

作品名：“声” のチカラを起点に高齢者が輝き活躍する地域へ

～0-60 モンテディオやまびこ～

応募者：株式会社ボイスクリエーションシュクル（埼玉県さいたま市）

○公益社団法人日本スポーツ・健康産業推進協会 会長賞

作品名：～経済効果から社会的効果へ～

沖縄県の取り組む「スポーツコンベンション 2.0」

応募者：一般社団法人沖縄スポーツ関連産業協会（沖縄県豊見城市）

＊公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会は公益社団法人日本スポーツ・健康産業推進協会へ名称変更しました。

2. 選考委員の受賞作品に対する意見は次のとおり。

○作品名：日本初開催の 3x3 オリンピック予選 ― 宇都宮がつなぐ世界と地域

応募者：3x3 のまち宇都宮推進委員会（栃木県宇都宮市）

・国際大会誘致を契機に毎年進化を続け、「まちづくり先進都市・宇都宮らしい洗練されたイベント」であり、約 7.8 万人の来場者や 12 億円超の経済効果を生み出し、中心市街地の活性化、地域経済への貢献、地域ブランド力の向上、スポーツによるまちづくりを実現した先導的な成功事例として高い評価を得た。市民参画の取組における独創性の課題と、地域経済とのさらなる連動深化が今後の期待点である。

○作品名：パラスポーツで賑わい創出プロジェクト

応募者：特定非営利活動法人静岡 FID サッカー連盟（静岡県静岡市）

・大会開催を通し、地域住民が体験会や試合観戦だけでなくボランティア参加し、地元企業の協賛も得るなど、幅広い種目を取り扱いながら地域に根付き、パラスポーツへの理解促進に資する規模・内容ともに申し分ない取り組みとなっており、障がいの有無に寄らない幅広い市民・企業参加によるダイバーシティ社会の実現とまちづくりへの貢献という社会的に意義の高い活動として評価できる。今後は、全国的な普及を目指すリーダー役となるため、広域展開と情報発信の更なる強化が望まれる。

○作品名：「ボッチャのまち大館」宣言～ボッチャを通じたまちづくり～

応募者：大館市（秋田県大館市）

・ユニバーサルデザインのまちづくりと整合性を図り、官民連携でボッチャを普及させることで高齢者や障害者を含む市民の社会参加を促し、まちを挙げた共生社会の実現を企図した優れた施策であり、タイ王国ボッチャチームとの交流を通じたスポーツツーリズムの推進は地方発の国際連携として評価できる。一方で、経済効果の健全性や地域外への情報発信の強化が今後の課題である。

○作品名：スポーツ DX であなたのマチを元気にする！「マチスポ」

応募者：株式会社 NTT Sportict（大阪府大阪市）

・AI カメラ「STADIUM TUBE」による無人撮影・編集・配信と、地域専用ポータルでの地域住民の双方向交流を実現し、地域スポーツを可視化することでテクノロジーを通じた地域活性化に大きく貢献している点が、スポーツ DX の先進事例として高く評価された。地方大会の配信や遠隔レッスン、合宿誘致、さらには女性アスリートの課題解決などにも展開し得る良き実践例として全国的な波及が期待される。

○作品名：スポーツファンプロジェクト

応募者：一般社団法人宇部市スポーツコミッション（山口県宇部市）

・地域スポーツコミッションの活動として、多様なスポーツを通じて広く市民参加を募り、行政・地域内外の様々なスポーツ関係団体や日本航空などのスペシャルパートナーとの連携体制により、次世代育成を含む市民協働と地域活性に貢献する秀逸かつ安定したイベントとして高く評価。一方で、地域性や独創性の観点が弱く、さらなる産業連携・事業者との交流の拡充が今後の課題として期待される。

○作品名：「声」のチカラを起点に高齢者が輝き活躍する地域へ
～0-60 モンテディオやまびこ～

応募者：株式会社ボイスクリエーションシュクル（埼玉県さいたま市）

・本事業は、Jリーグの応援とボイストレーニングを組み合わせたユニークで効果的な市民参加型イベントとして、健康増進とJリーグの盛り上がりの両方に成果を出している点が特筆され、声のトレーニングによる予防医療として、具体的なデータに基づき、インストラクター育成など高い継続性を持つ優れた取り組みと評価。今後の課題として、高齢者に偏りがちな参加者層の幅広い世代へのアプローチ、地域経済への貢献、活動範囲の広域化との意見が挙げられた

○作品名：～経済効果から社会的効果へ～

沖縄県の取り組む「スポーツコンベンション 2.0」

応募者：一般社団法人沖縄スポーツ関連産業協会（沖縄県豊見城市）

・スポーツ合宿誘致に留まらず、廃校施設の利活用、地域交流、ダイバーシティや介護予防などの地域課題解決、そしてSDGsにも貢献するプログラムであり、「スポーツアイランド沖縄の新しい波」として、観光とスポーツ産業を融合させ、テレビでの特集など大きなインパクトと高いメディア露出を伴う官民連携の地域振興モデルとして評価。今後は、特定業界への依存傾向を解消するための裾野拡大に向けた人材育成や産業の多角化を期待したい。

3. 受賞作品概要 「別 紙」

4. 問い合わせ先

- ・一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 事務局（担当：井塚）
〒101-0021 東京都千代田区外神田1-1-13 万世橋出張所・区民館5階 CTIB502号室
TEL: 03-6441-2045 FAX: 03-6441-2046
E-mail: info@sporttourism.or.jp

授賞式に関するお問い合わせ

- ・公益社団法人日本スポーツ・健康産業推進協会 事務局（担当：高田）
〒160-0004 東京都新宿区四谷 3-2-1 フロントプレイス四谷 7 階
T S O International(株) 内
TEL: 03-6434-9510 FAX: 03-5363-0301
E-mail: jimukyoku@spo-danren.jp
*公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会は公益社団法人日本スポーツ・健康産業推進協会へ名称変更しました。